

国有林野と現行計画の概要 (南予森林計画区)

国有林野の森林計画に関する地区懇談会

令和7年8月19日
四国森林管理局



国民の森林
国有林



1	四国の森林・林業	1) 四国の森林の概要	3
		2) 人工林の齢級別面積・樹種別面積	4
		3) 素材生産量の推移	6
		4) 大型製材工場、木質バイオマス発電所等の位置	7
2	森林計画制度	1) 我が国の森林計画制度	9
		2) 四国の森林計画区	10
		3) 森林計画策定のプロセス	11
3	現行の国有林野の 森林計画の概要	1) 南予森林計画区の特徴	13
		2) 機能類型区分	15
		3) 林地保全に配慮した施業の推進	18
		4) 主要事業の実施状況	22
		5) 新しい林業の実現に向けて	23
		6) 特に効率的な施業を推進する森林	24
		7) 森林・林業技術者等の育成支援	27
		8) レクリエーションの森	28
		9) 保護林	29
		10) 民有林との連携	30
		11) 林業技術の開発・指導及び普及	31
		12) 国有林の維持・保全	32



1	四国の森林・林業	1) 四国の森林の概要	3
		2) 人工林の齢級別面積・樹種別面積	4
		3) 素材生産量の推移	6
		4) 大型製材工場、木質バイオマス発電所等の位置	7
2	森林計画制度	1) 我が国の森林計画制度	9
		2) 四国の森林計画区	10
		3) 森林計画策定のプロセス	11
3	現行の国有林野の 森林計画の概要	1) 南予森林計画区の特徴	13
		2) 機能類型区分	15
		3) 林地保全に配慮した施業の推進	18
		4) 主要事業の実施状況	22
		5) 新しい林業の実現に向けて	23
		6) 特に効率的な施業を推進する森林	24
		7) 森林・林業技術者等の育成支援	27
		8) レクリエーションの森	28
		9) 保護林	29
		10) 民有林との連携	30
		11) 林業技術の開発・指導及び普及	31
		12) 国有林の維持・保全	32

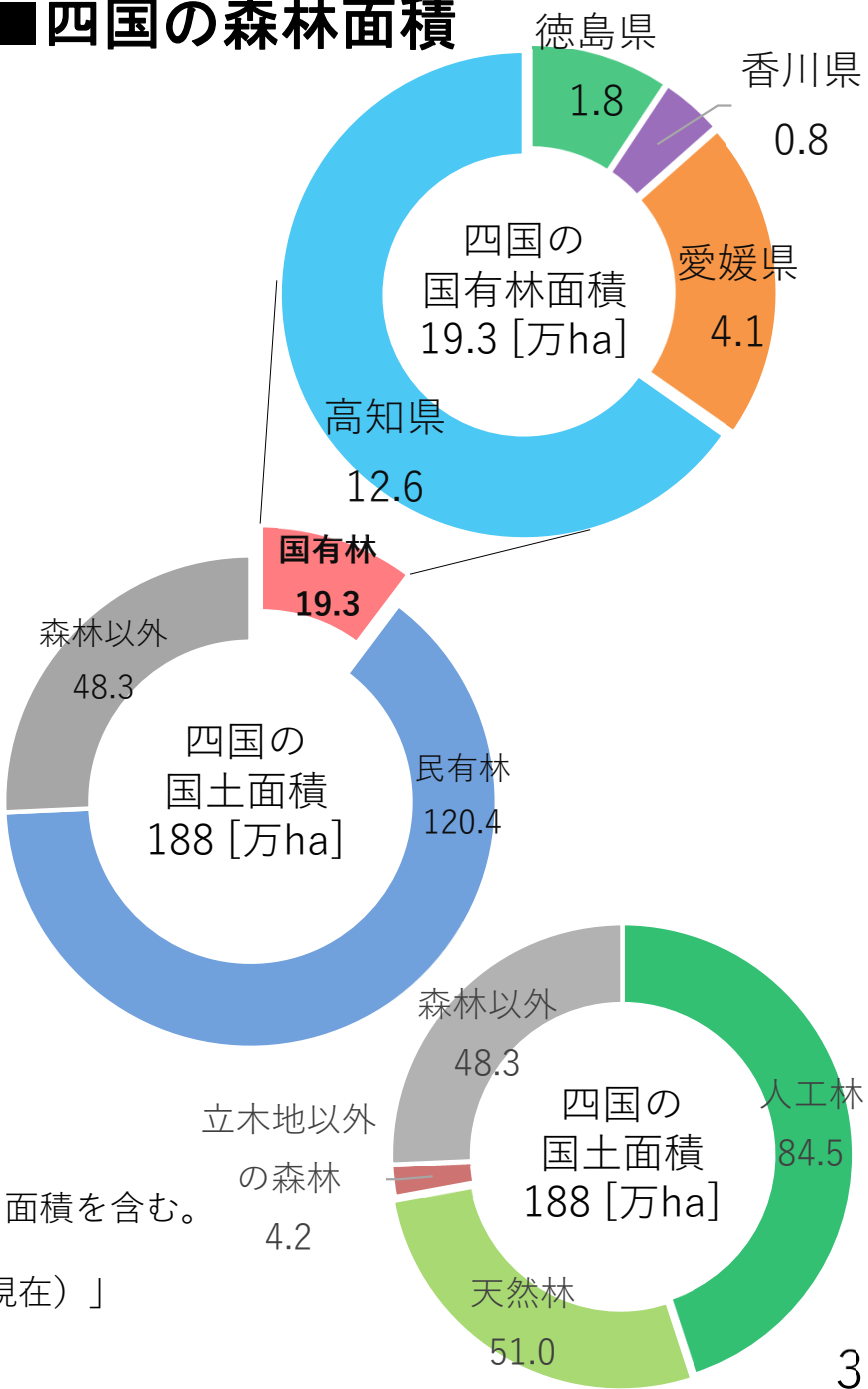
1.1) 四国の森林の概要



■四国の森林の概要

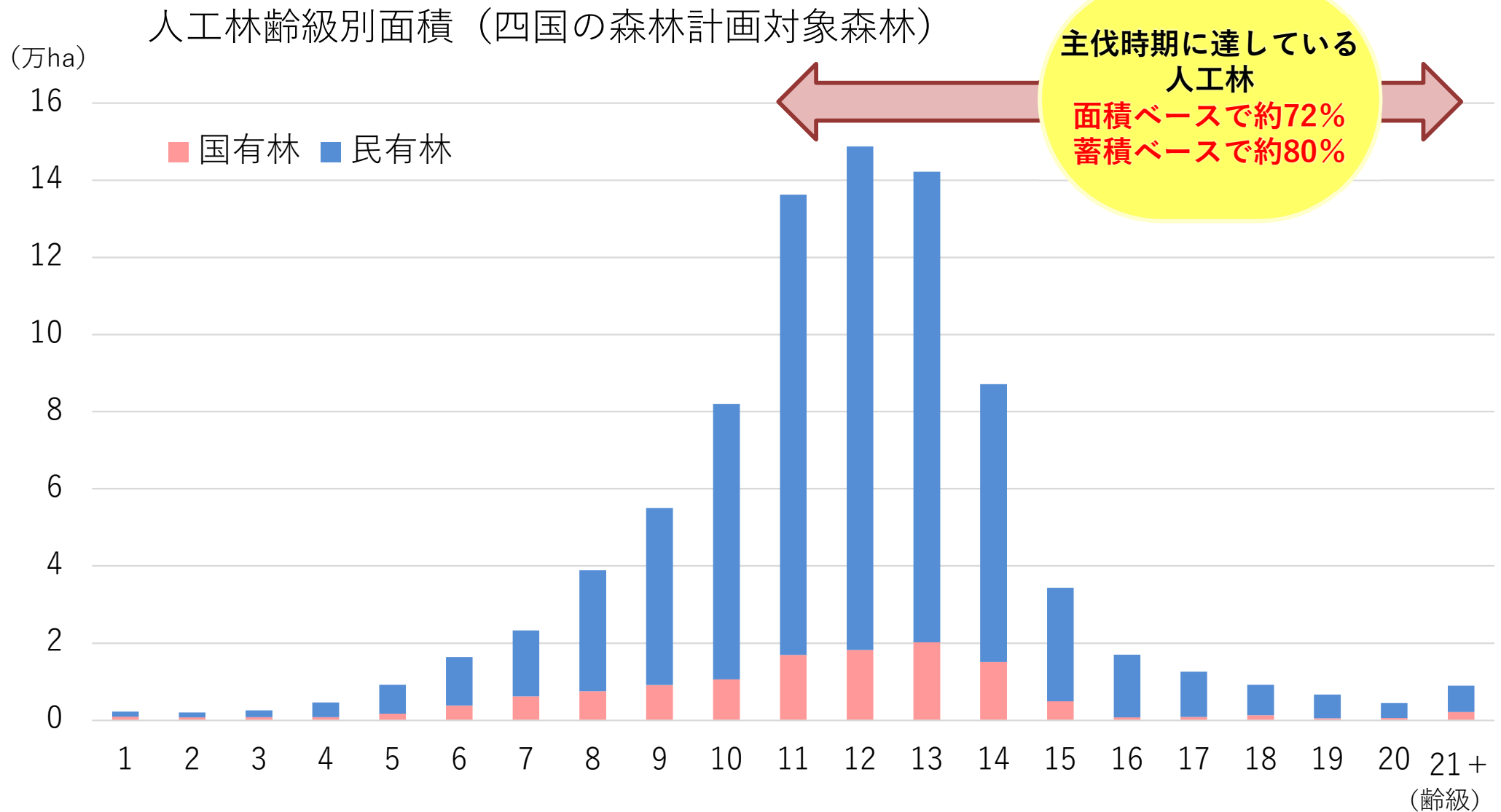
都道府県	森林			国有林		人工林	
	面積 (万ha)	森林率	森林蓄積 (万m3)	面積 (万ha)	国有林率	面積 (万ha)	人工林率
徳島県	31.5	76% 全国9位	10,396	1.8	6%	19.0	60% 全国9位
香川県	8.8	47% 全国37位	713	0.8	9%	2.3	27% 全国43位
愛媛県	40.1	71% 全国19位	12,422	4.1	10%	24.4	61% 全国6位
高知県	59.4	84% 全国1位	20,777	12.6	21%	38.7	65% 全国2位
四国計	139.8	74%	44,309	19.3	14%	84.5	60%
全 国	2,502.5	67%	556,020	765.7	31%	1,009.3	40%

■四国の森林面積



注1：計の不一致は四捨五入による。
注2：国有林面積には官行造林地、計画対象外国有林、他省庁所管国有林の面積を含む。
資料：林野庁 統計情報「森林資源の現況（令和4年3月31日現在）」、
林野庁 統計情報「都道府県別森林率・人工林率（令和4年3月31日現在）」

1.2) 人工林の齢級別・樹種別面積



注1：齢級とは、林齢を5年の幅でくくった単位。

人工林は苗木を植栽した年を1年生とし、1～5年生を「1齢級」と数える。

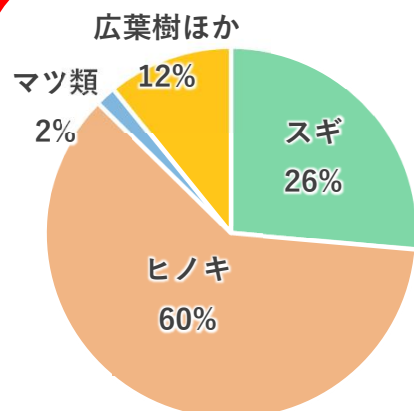
2：国有林には官行造林地を含む。

資料：林野庁 統計情報「森林資源の現況（令和4年3月31日現在）」

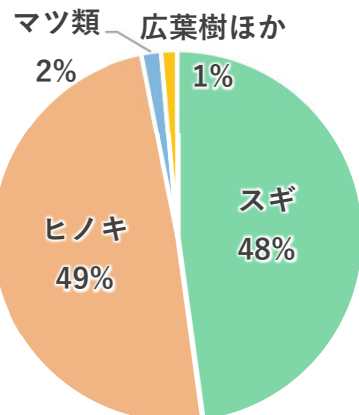
1.2) 人工林の齢級別・樹種別面積



愛媛県 人工林樹種別割合

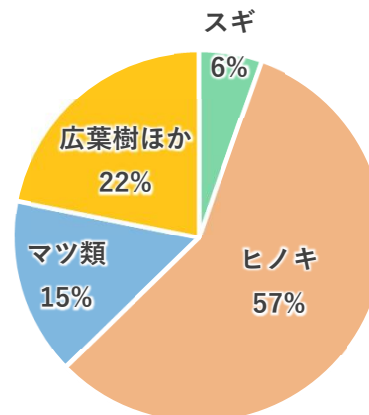


(国有林)

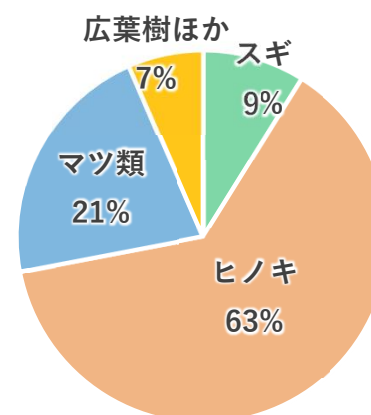


(民有林)

香川県 人工林樹種別割合

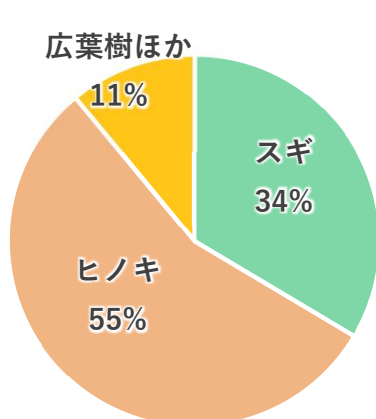


(国有林)

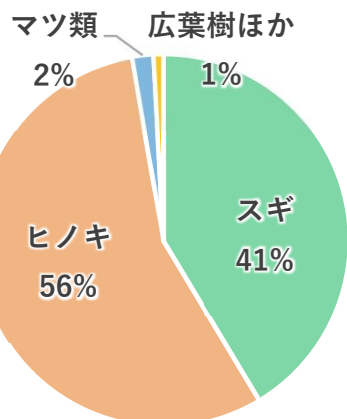


(民有林)

高知県 人工林樹種別割合

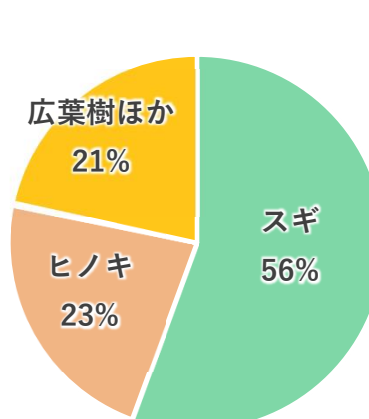


(国有林)

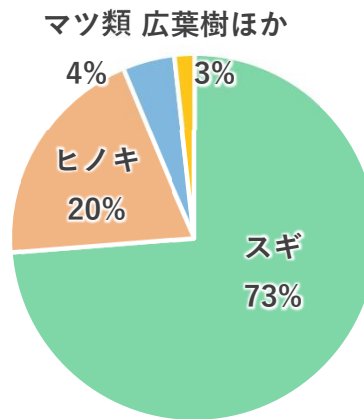


(民有林)

徳島県 人工林樹種別割合



(国有林)



(民有林)

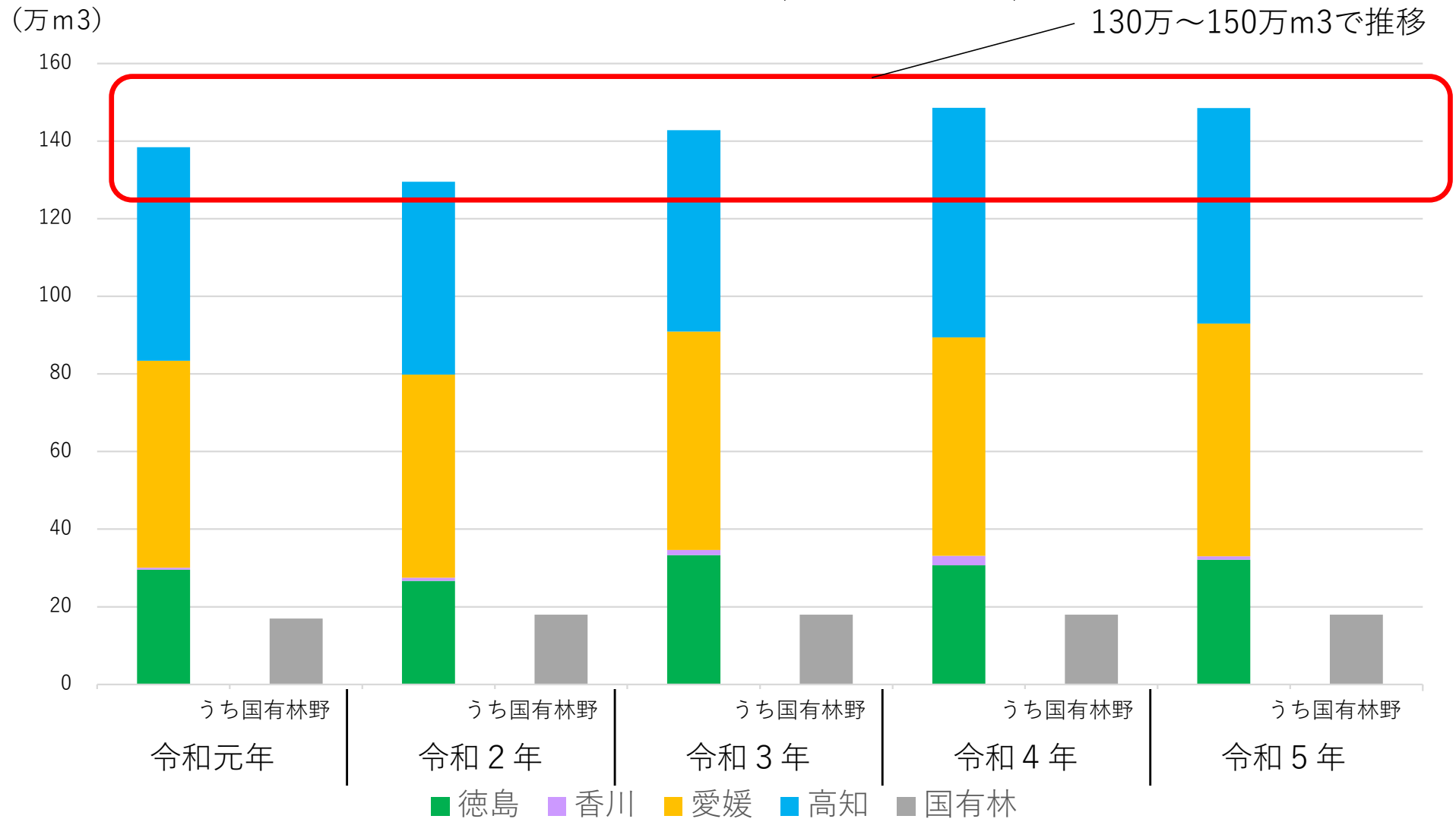
注：国有林には官行造林地を含む。

資料：林野庁 統計情報「森林資源の現況（令和4年3月31日現在）」

1.3) 素材生産量の推移

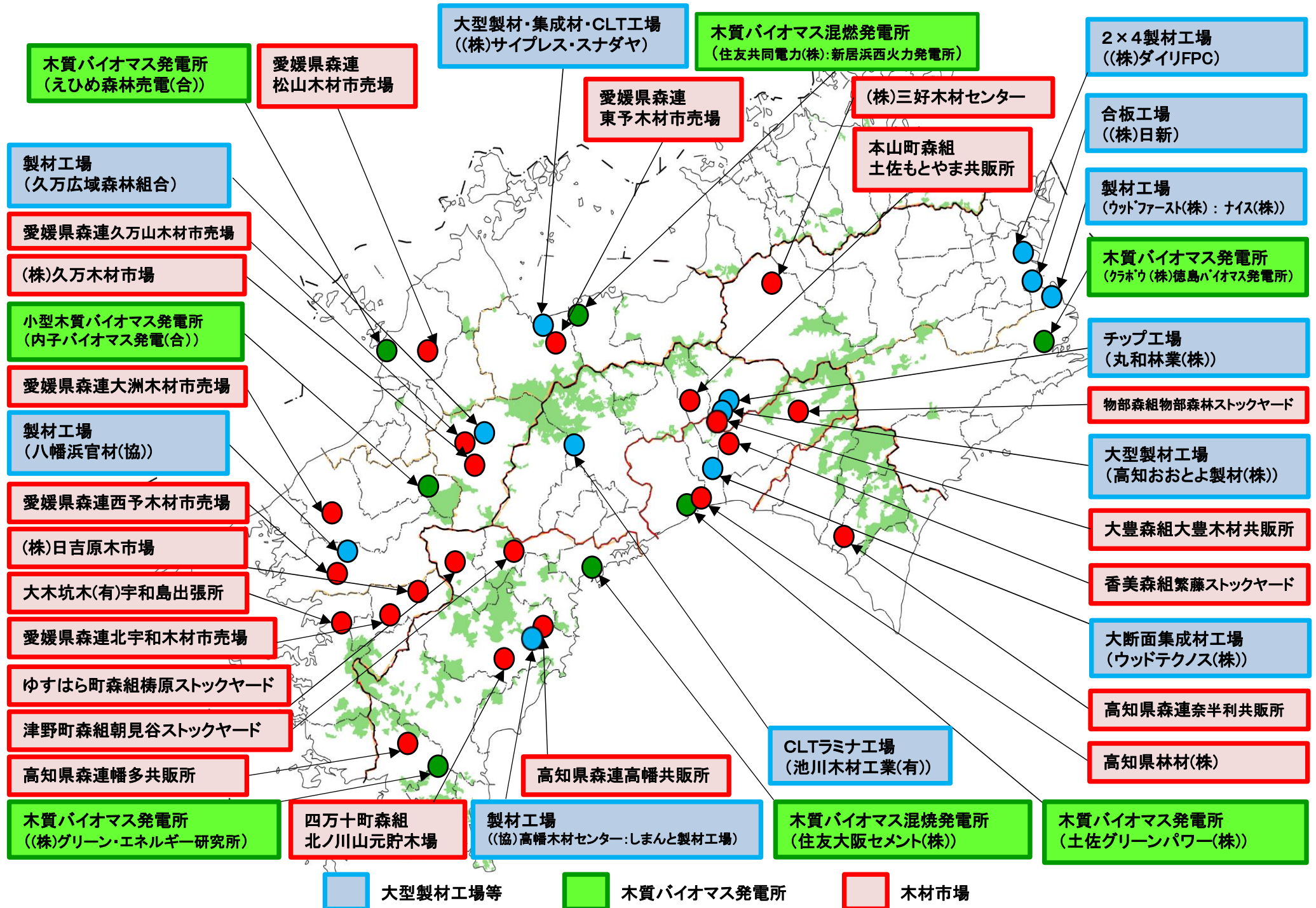


四国における素材生産量の推移（過去5年分）



資料：農林水産省「木材需給報告書」（R元～R4年）、
農林水産省「木材統計」（R5年）、
四国森林管理局「四国森林管理局事業統計書」（R元～R5年）

1.4) 大型製材工場、木質バイオマス発電所等の位置





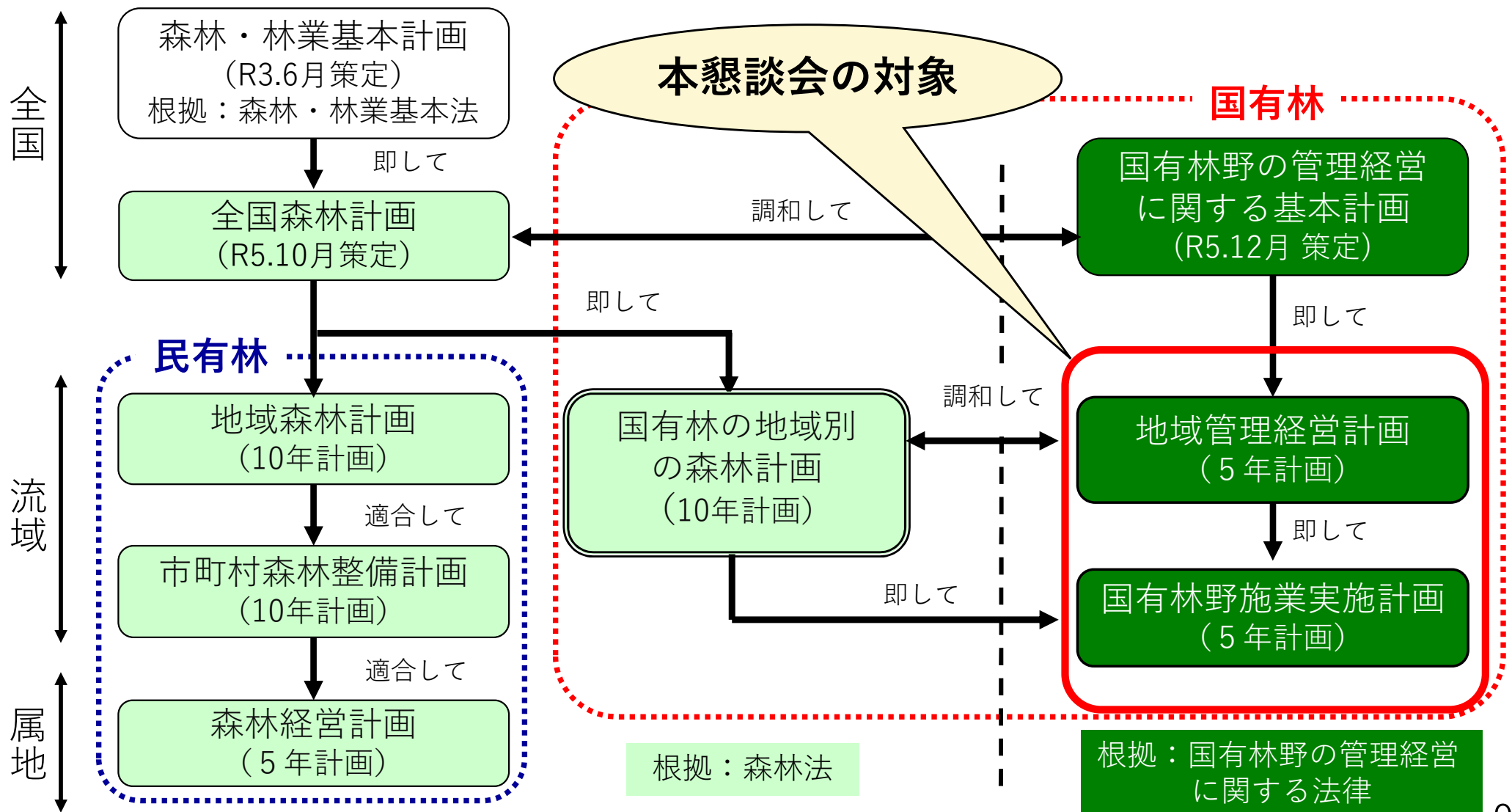
1	四国の森林・林業	1) 四国の森林の概要	3
		2) 人工林の齢級別面積・樹種別面積	4
		3) 素材生産量の推移	6
		4) 大型製材工場、木質バイオマス発電所等の位置	7
2	森林計画制度	1) 我が国の森林計画制度	9
		2) 四国の森林計画区	10
		3) 森林計画策定のプロセス	11
3	現行の国有林野の 森林計画の概要	1) 南予森林計画区の特徴	13
		2) 機能類型区分	15
		3) 林地保全に配慮した施業の推進	18
		4) 主要事業の実施状況	22
		5) 新しい林業の実現に向けて	23
		6) 特に効率的な施業を推進する森林	24
		7) 森林・林業技術者等の育成支援	27
		8) レクリエーションの森	28
		9) 保護林	29
		10) 民有林との連携	30
		11) 林業技術の開発・指導及び普及	31
		12) 国有林の維持・保全	32

2.1) 我が国の森林計画制度



○森林の有する多面的機能（国土の保全・水源の涵養・生物多様性の保全・地球温暖化の防止・木材の生産等）が持続的に発揮されるよう、森林を計画的に整備・保全する必要がある。

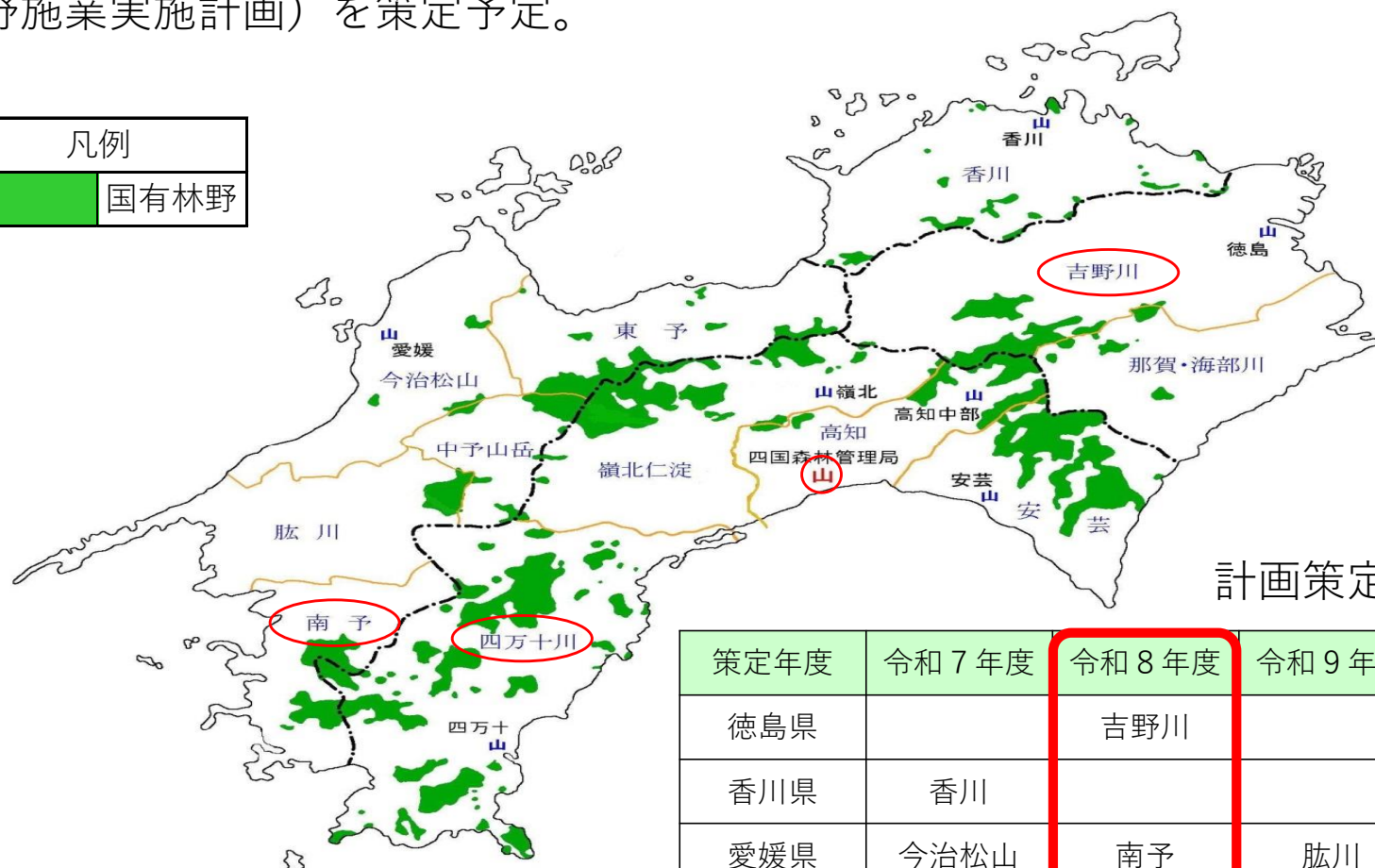
○計画的な森林の整備・保全により林業の担い手を確保し、林業を積極的かつ健全に発展させる。



2.2) 四国の森林計画区



- 「流域」という考え方を基準にして、森林計画区を設定。森林計画区ごとに計画を策定。
- 四国には、12の森林計画区。
- このうち、吉野川森林計画区（徳島県）、南予森林計画区（愛媛県）、四万十川森林計画区（高知県）は、来年度（令和8年度）に次期の地域管理経営計画等（地域管理経営計画・国有林野施業実施計画）を策定予定。



計画策定年度一覧

策定年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
徳島県		吉野川		那賀・海部川	
香川県	香川				
愛媛県	今治松山	南予	肱川	中予山岳	東予
高知県		四万十川	安芸	嶺北仁淀	高知

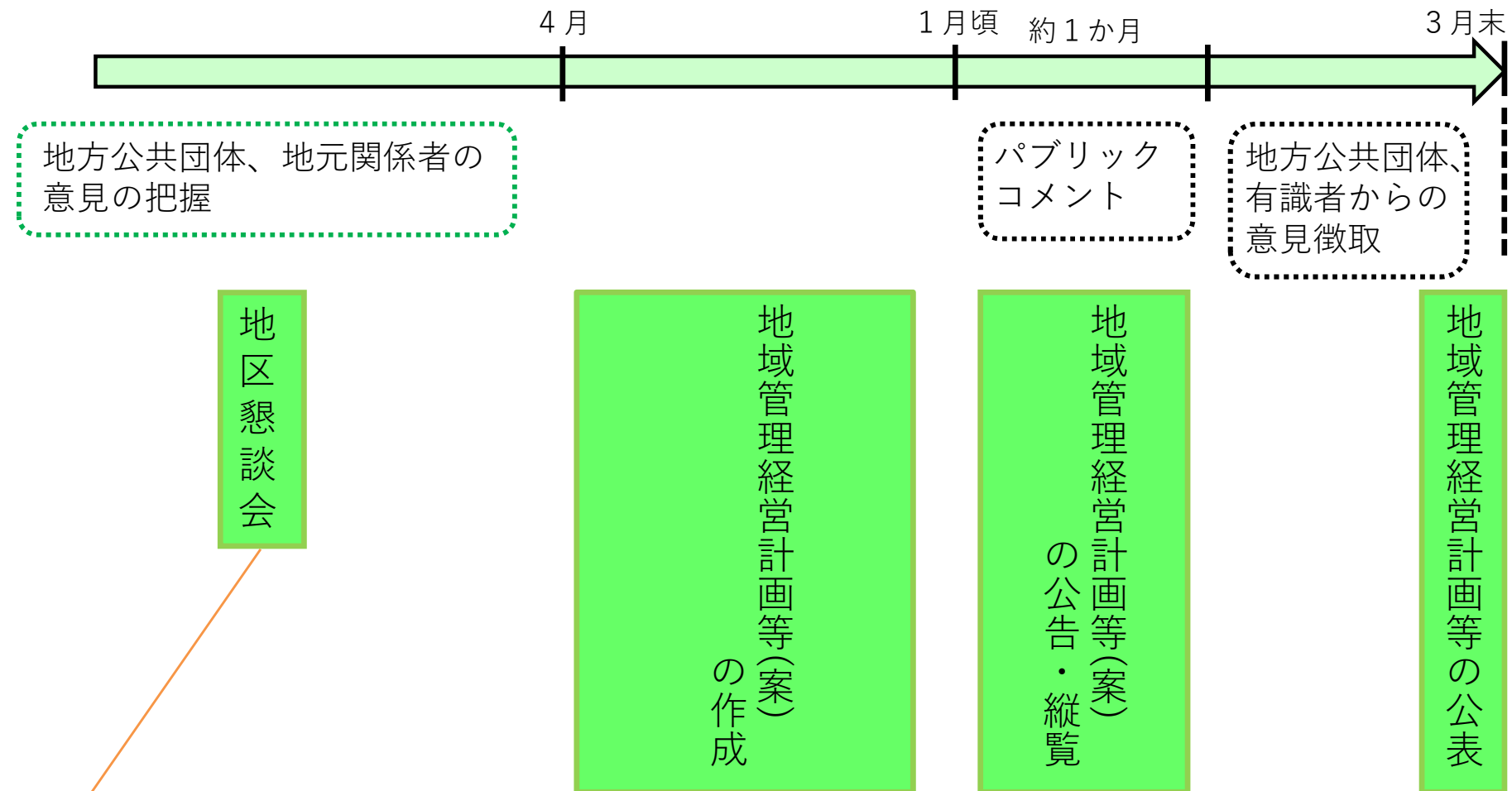
2.3) 森林計画策定のプロセス



(南予森林計画区)

R7 年度

R8 年度(策定年度)



本日の【地区懇談会】

地域管理経営計画等の計画策定に着手する段階で、地域の多様な関係者からのご意見をいただく場として設定



1	四国の森林・林業	1) 四国の森林の概要	3
		2) 人工林の齢級別面積・樹種別面積	4
		3) 素材生産量の推移	6
		4) 大型製材工場、木質バイオマス発電所等の位置	7
2	森林計画制度	1) 我が国の森林計画制度	9
		2) 四国の森林計画区	10
		3) 森林計画策定のプロセス	11
3	現行の国有林野の 森林計画の概要	1) 南予森林計画区の特徴	13
		2) 機能類型区分	15
		3) 林地保全に配慮した施業の推進	18
		4) 主要事業の実施状況	22
		5) 新しい林業の実現に向けて	23
		6) 特に効率的な施業を推進する森林	24
		7) 森林・林業技術者等の育成支援	27
		8) レクリエーションの森	28
		9) 保護林	29
		10) 民有林との連携	30
		11) 林業技術の開発・指導及び普及	31
		12) 国有林の維持・保全	32

3.1) 南予森林計画区の特徴



南予計画区の範囲：愛媛県南部

宇和島市、北宇和郡（松野町、鬼北町）、南宇和郡（愛南町）

○区域面積 10.5万ha

○森林面積 8.0万ha（区域面積の77%）

○国有林野面積 1.2万ha（区域内森林面積の15%）



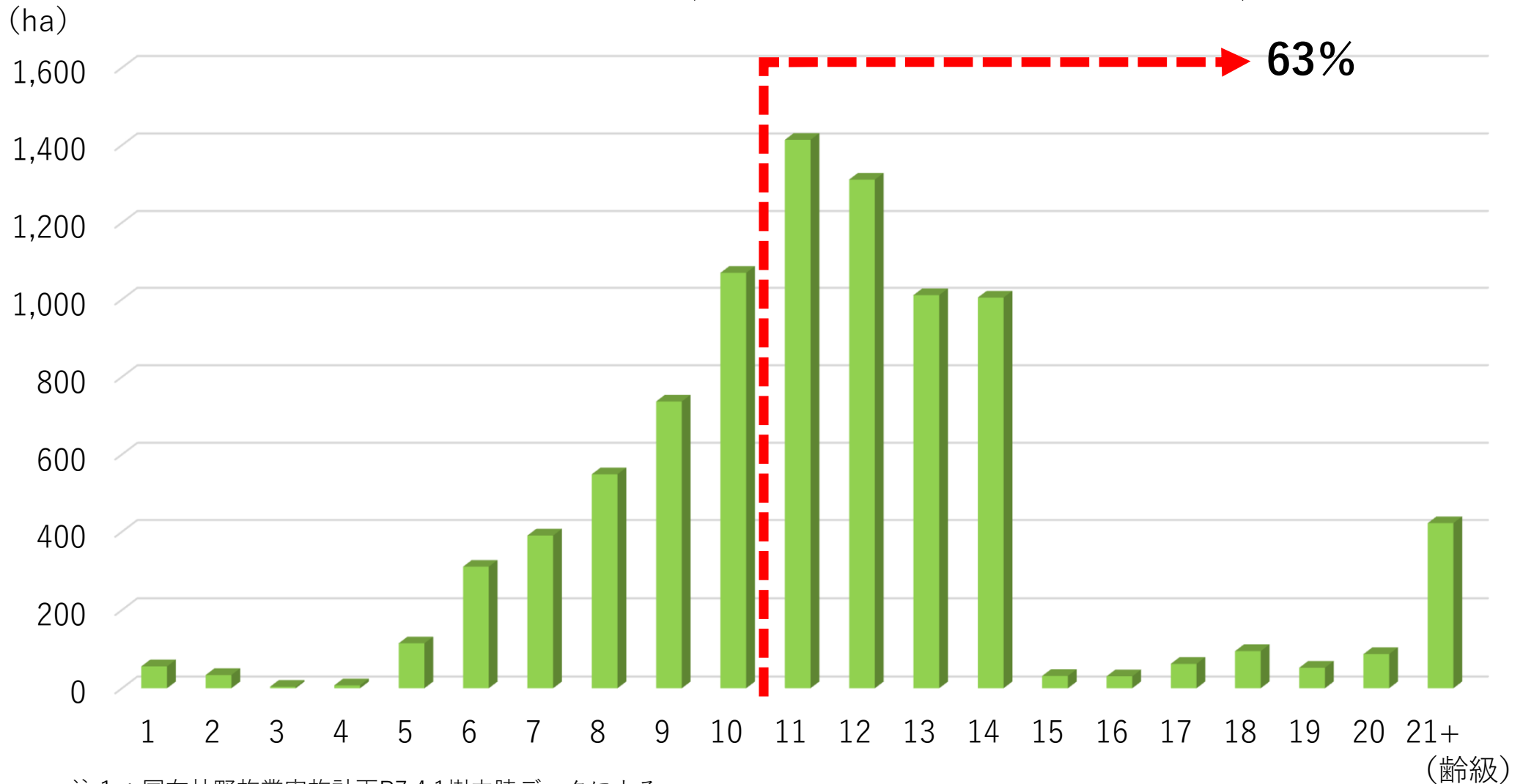
南予森林計画区
の国有林野

3.1) 南予森林計画区の特徴



○南予森林計画区の国有林野で、利用可能な段階を迎えている11齢級以上（51年生以上）の人工林は63%。

人工林の齢級別林地面積（南予森林計画区のうち国有林野）

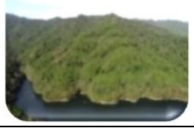


注1：国有林野施業実施計画R7.4.1樹立時データによる。

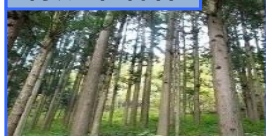
2：表中の林地面積には官行造林を含まない。

3.2) 機能類型区分



機能類型区分	機能類型区分の考え方	施業方法
山地災害防止タイプ 	土砂流出・崩壊防備エリアと気象害防備エリアの2つに区分して取り扱う。 ○土砂流出・崩壊防備エリア 土砂の流出、崩壊等山地災害による人命・施設の被害の防備を目的とする森林 ○気象害防備エリア 風害、飛砂、潮害、濃霧等の気象害による居住・産業活動に係る環境の悪化の防備を目的とする森林	育成複層林施業 天然生林施業
自然維持タイプ 	原生的な森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存等、自然環境の保全に係る機能を重点的に発揮させることを目的とする森林	育成複層林施業 天然生林施業
森林空間利用タイプ 	スポーツ又はレクリエーション、教育、文化、休養等の活動の場や優れた景観の提供及び都市又はその周辺の風致の維持に係る機能を重点的に発揮させることを目的とする森林	育成単層林施業 育成複層林施業 天然生林施業
快適環境形成タイプ	汚染物質の吸着能力が高く、かつ、抵抗性があり、葉量の多い樹種によって構成される森林	※四国の国有林野では該当なし
水源涵養タイプ 	国民生活に欠かせない良質で豊かな水の供給に係る機能を重点的に発揮させることを目的とする森林	育成単層林施業 育成複層林施業 天然生林施業

育成単層林



樹齢・樹高が単一の森林として人為により成立・維持

育成複層林



樹齢・樹高が複数の森林として人為により成立・維持

天然生林



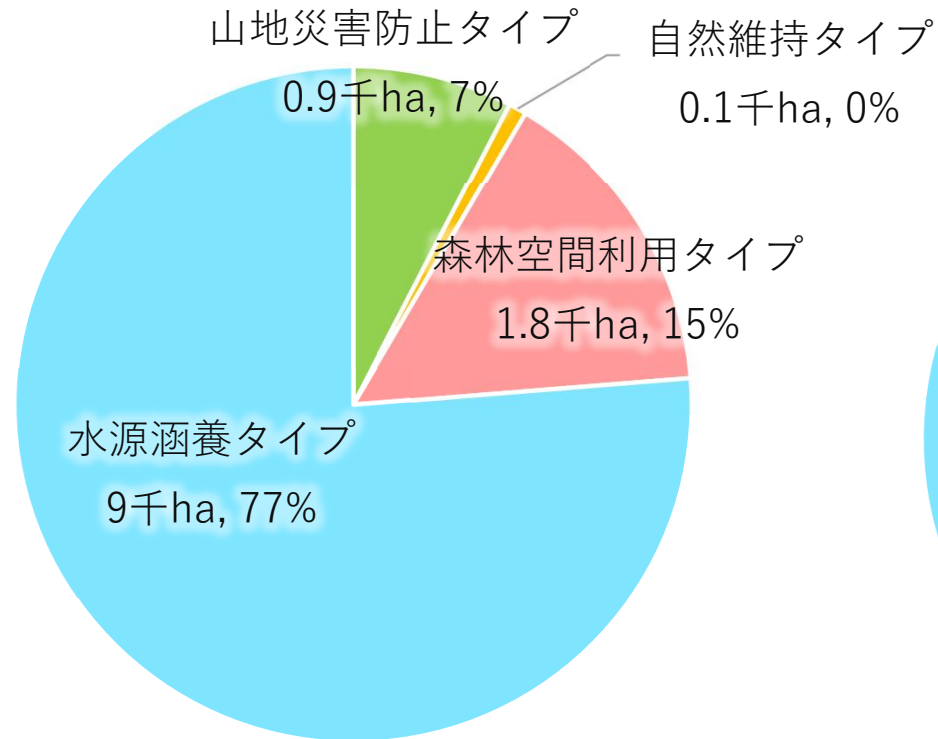
自然散布の種子の発芽・生育等、天然力により成立・維持

3.2) 機能類型区分

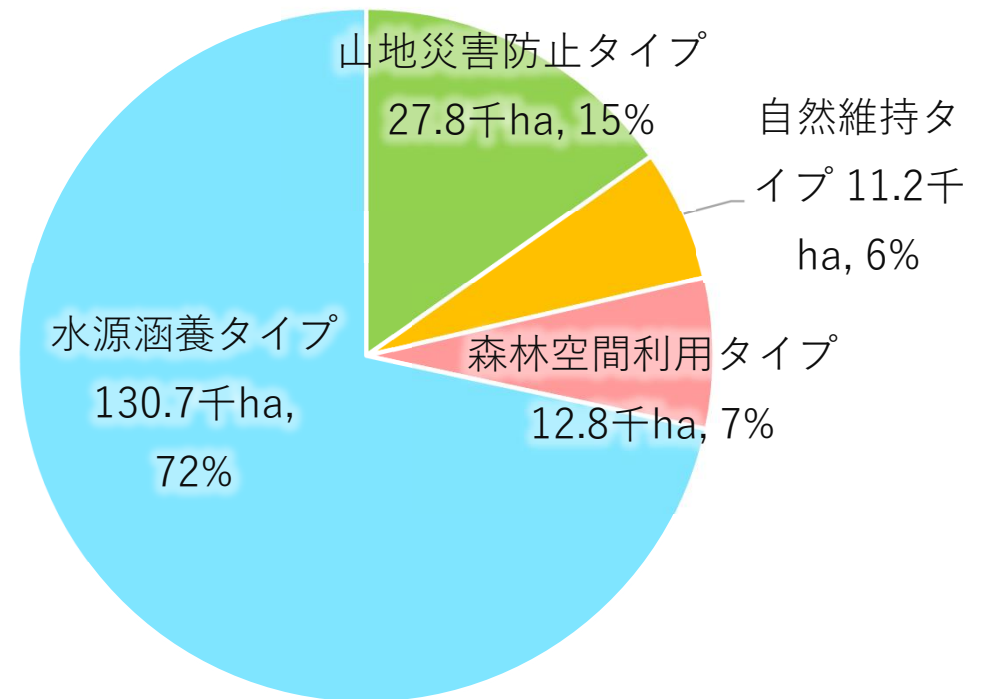


○南予森林計画区では、四国の平均と比較して、水源涵養タイプ、森林空間利用タイプの割合が大きく、山地災害防止タイプ、自然維持タイプの割合が小さい。

南予森林計画区内の国有林野の機能類型区分

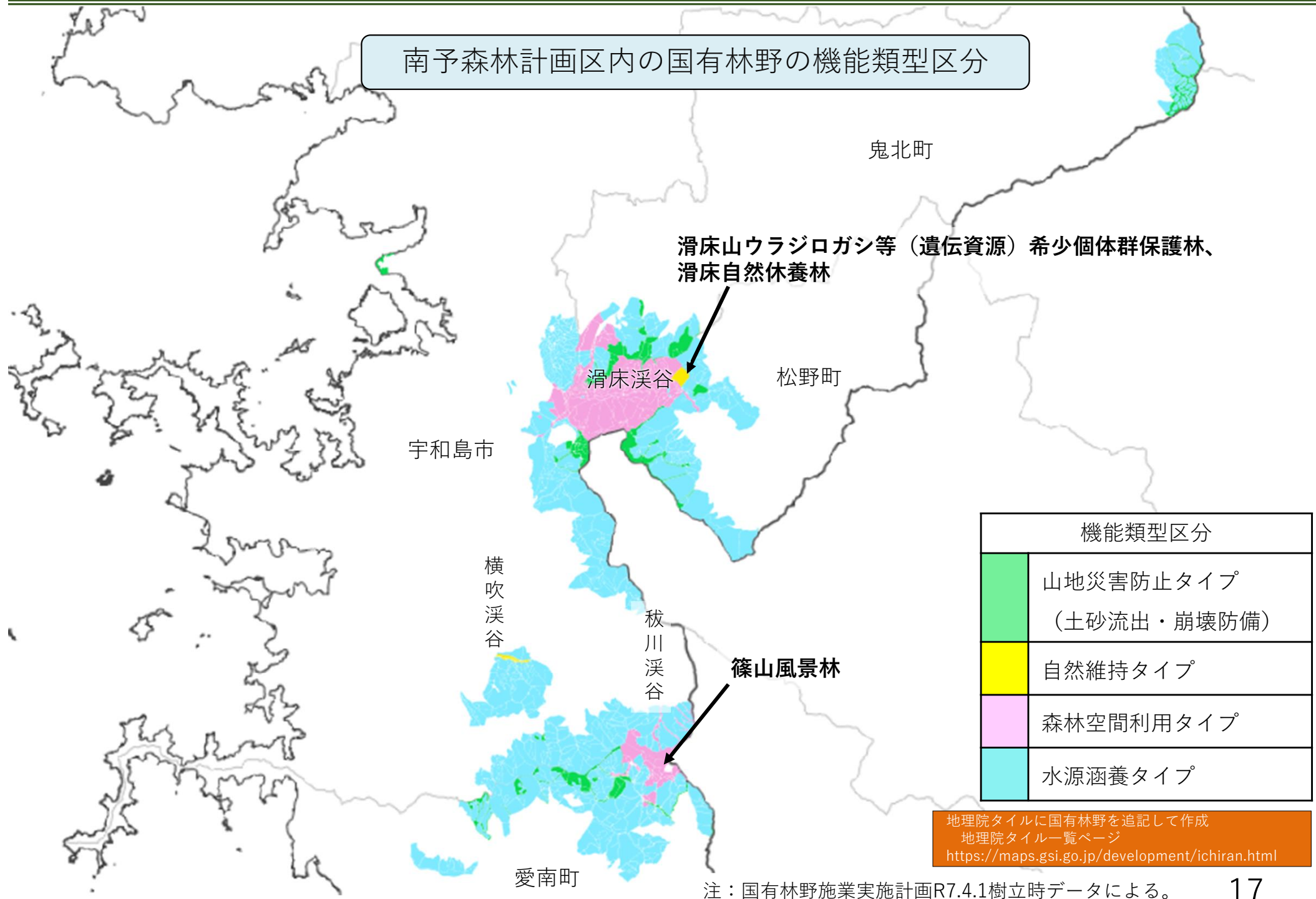


四国の国有林野の機能類型区分



注1：国有林野施業実施計画R7.4.1樹立時データによる。
注2：四捨五入のため割合は100%にならないことがある。

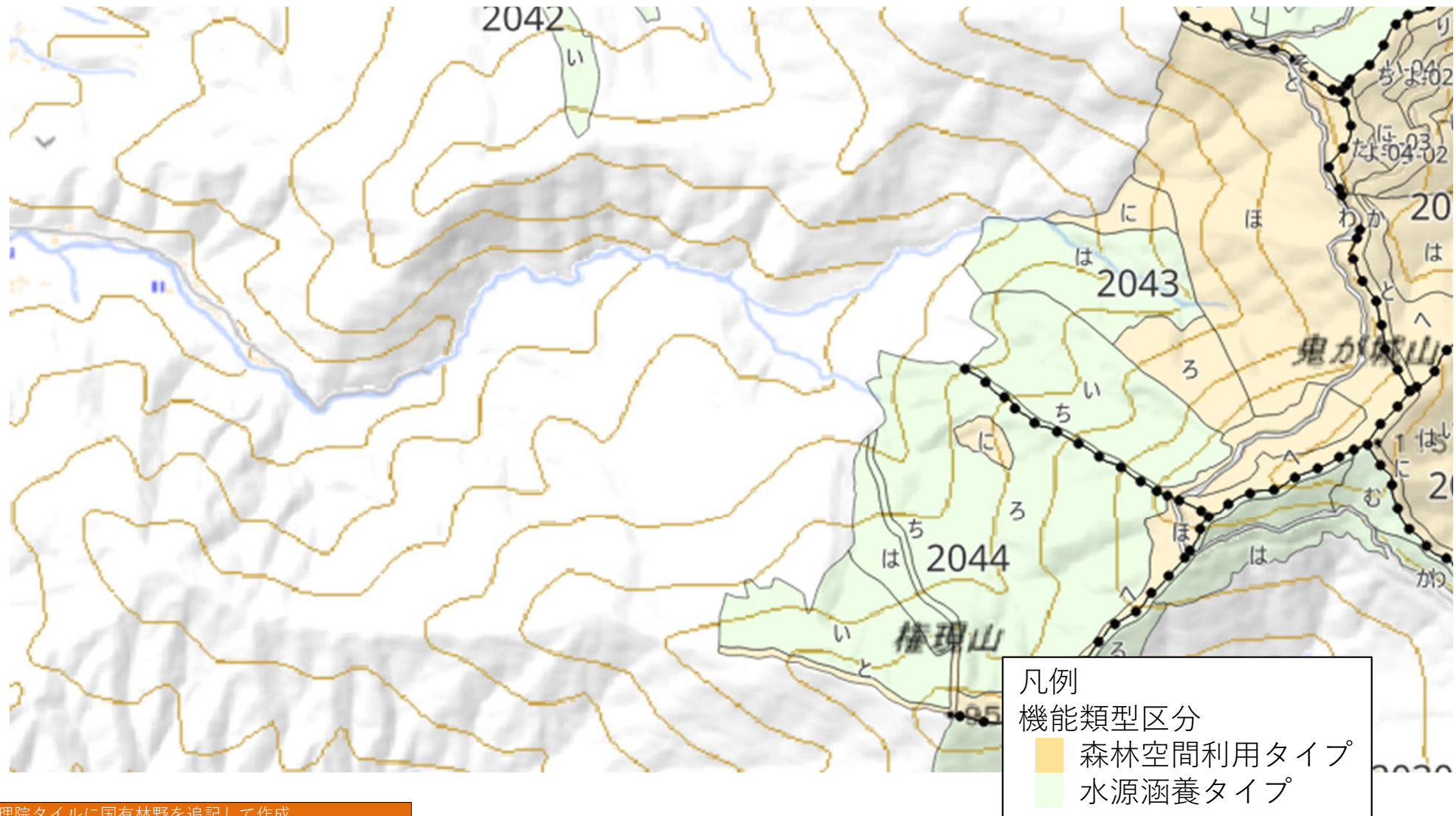
3.2) 機能類型区分



3.3) 林地保全に配慮した施業の推進



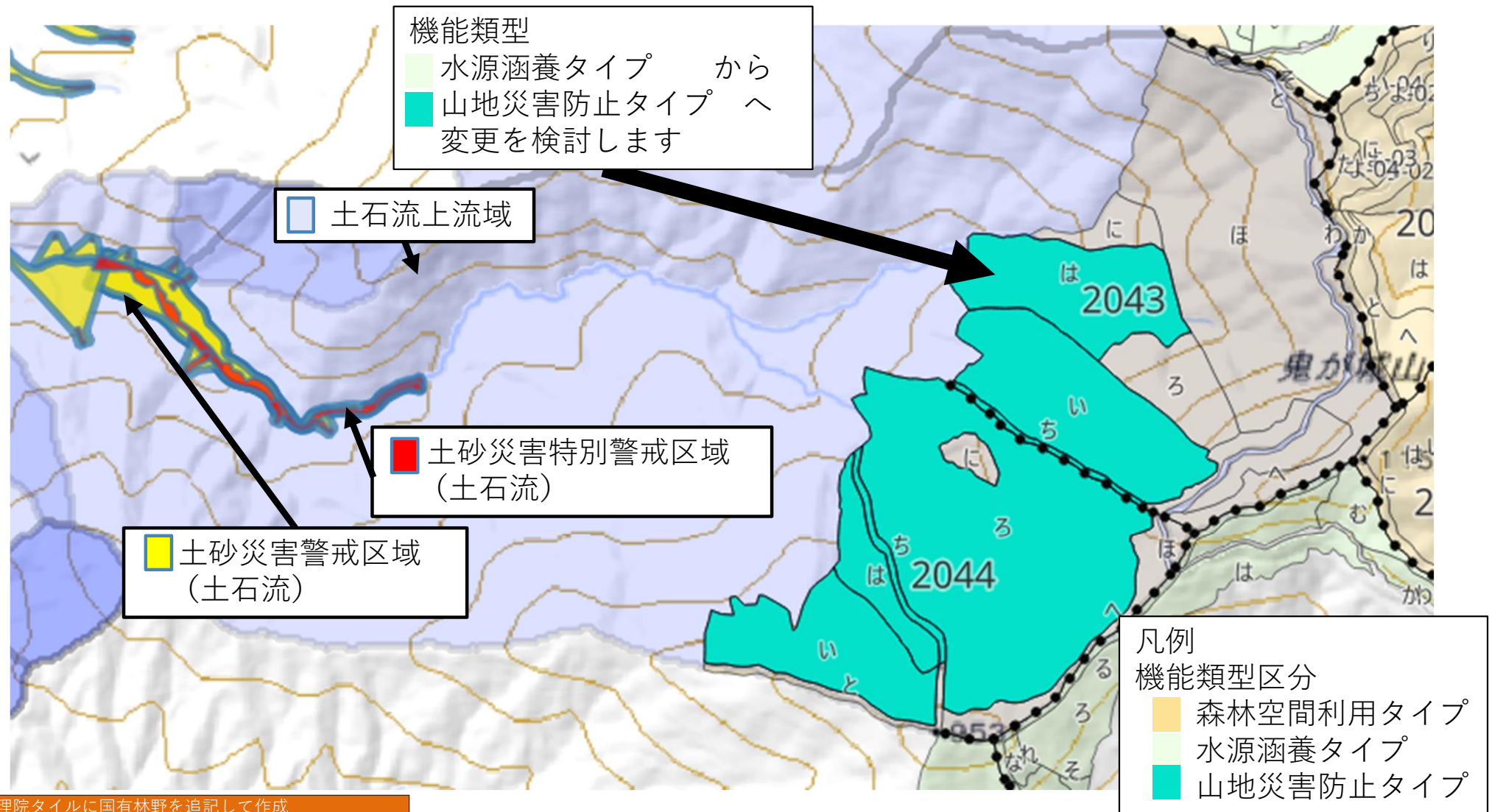
現在の機能類型区分(南予森林計画区のうち鬼ヶ城山の西側)



3.3) 林地保全に配慮した施業の推進



機能類型区分の変更を検討中(南予森林計画区のうち鬼ヶ城山の西側)



3.3) 林地保全に配慮した施業の推進



現在の機能類型区分(南予森林計画区のうち僧都川上流)



凡例
機能類型区分
水源涵養タイプ
山地災害防止タイプ

3.3) 林地保全に配慮した施業の推進

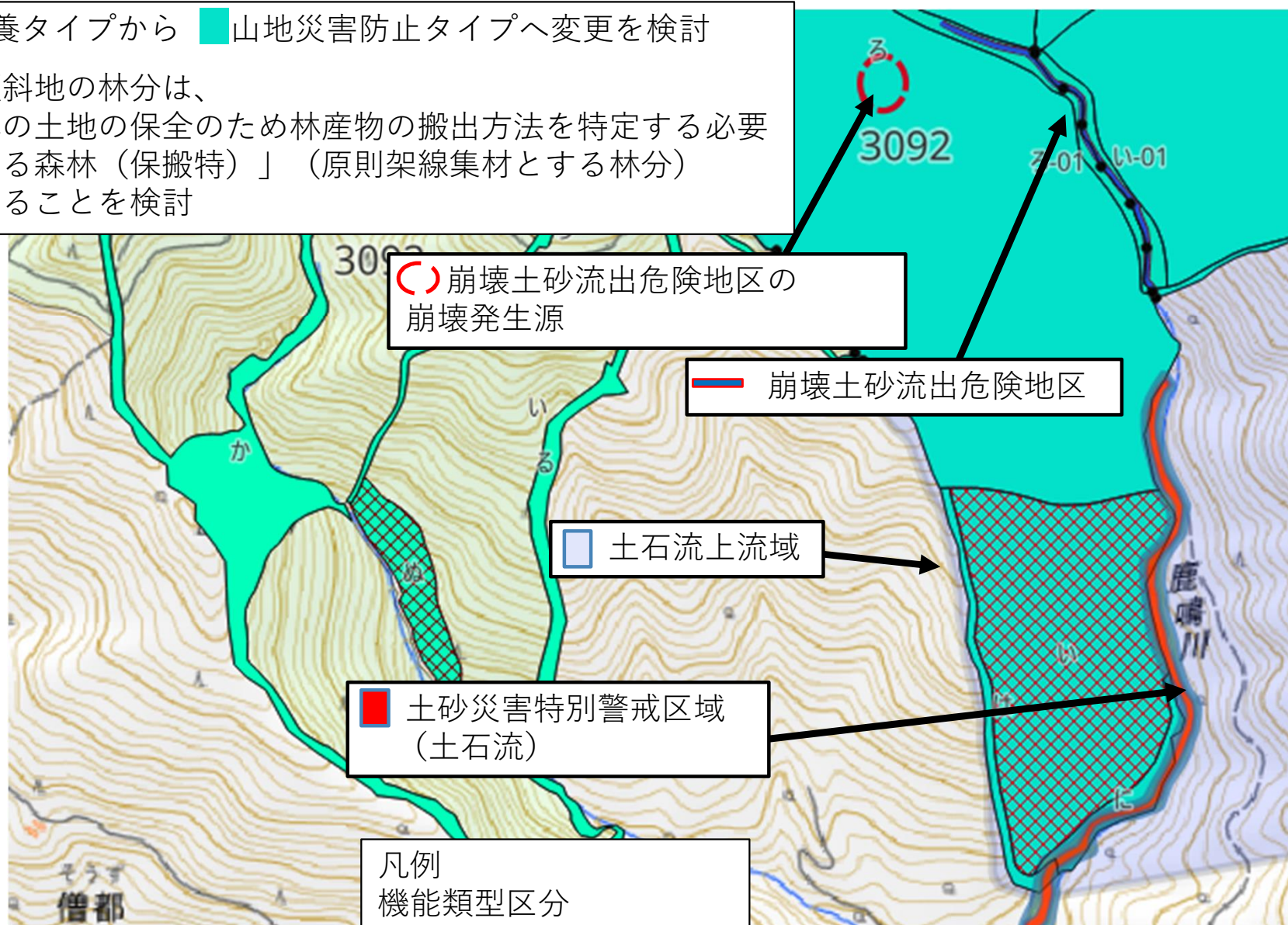


保搬特の設定を検討中(南予森林計画区のうち僧都川上流)

水源涵養タイプから 山地災害防止タイプへ変更を検討

さらに急傾斜地の林分は、

「森林の土地の保全のため林産物の搬出方法を特定する必要のある森林（保搬特）」（原則架線集材とする林分）とすることを検討



3.4) 主要事業の実施状況



主要事業量

【南予森林計画区の国有林野】

		計画量 (令和4年度 ～ 令和8年度)	実績量 (令和4年度 ～ 令和7年6月まで)	進捗率
伐採	主伐 (m3)	50,020	14,732	29%
	間伐 (m3)	301,965	104,593	35%
	合計	351,985	119,325	34%
造林・保育	人工造林 (ha)	148	33	22%
	下刈 (ha)	378	108	29%
	除伐 (ha)	23	0	0%
	つる切 (ha)	3	0	0%
林道	開設 (m)	500	0	0%
	改良 (m)	11,150	0	0%
治山	保全施設 溪間工 (箇所)	9	1	11%
	保全施設 山腹工 (箇所)	1	0	0%
	保安林の整備 (ha)	47	32	68%



注：計画量は、第六次国有林野施業実施計画書（南予森林計画区）による。

3.5) 新しい林業の実現に向けて



森林・林業基本計画（令和3年6月）

- ①森林の有する多面的機能の発揮と
- ②林産物の供給及び利用を図り、多様で健全な森林へ誘導していくこととする。

多様で健全な森林への誘導イメージ

育成単層林



樹齢・樹高が単一の森林として人為により成立・維持

育成複層林



樹齢・樹高が複数の森林として人為により成立・維持

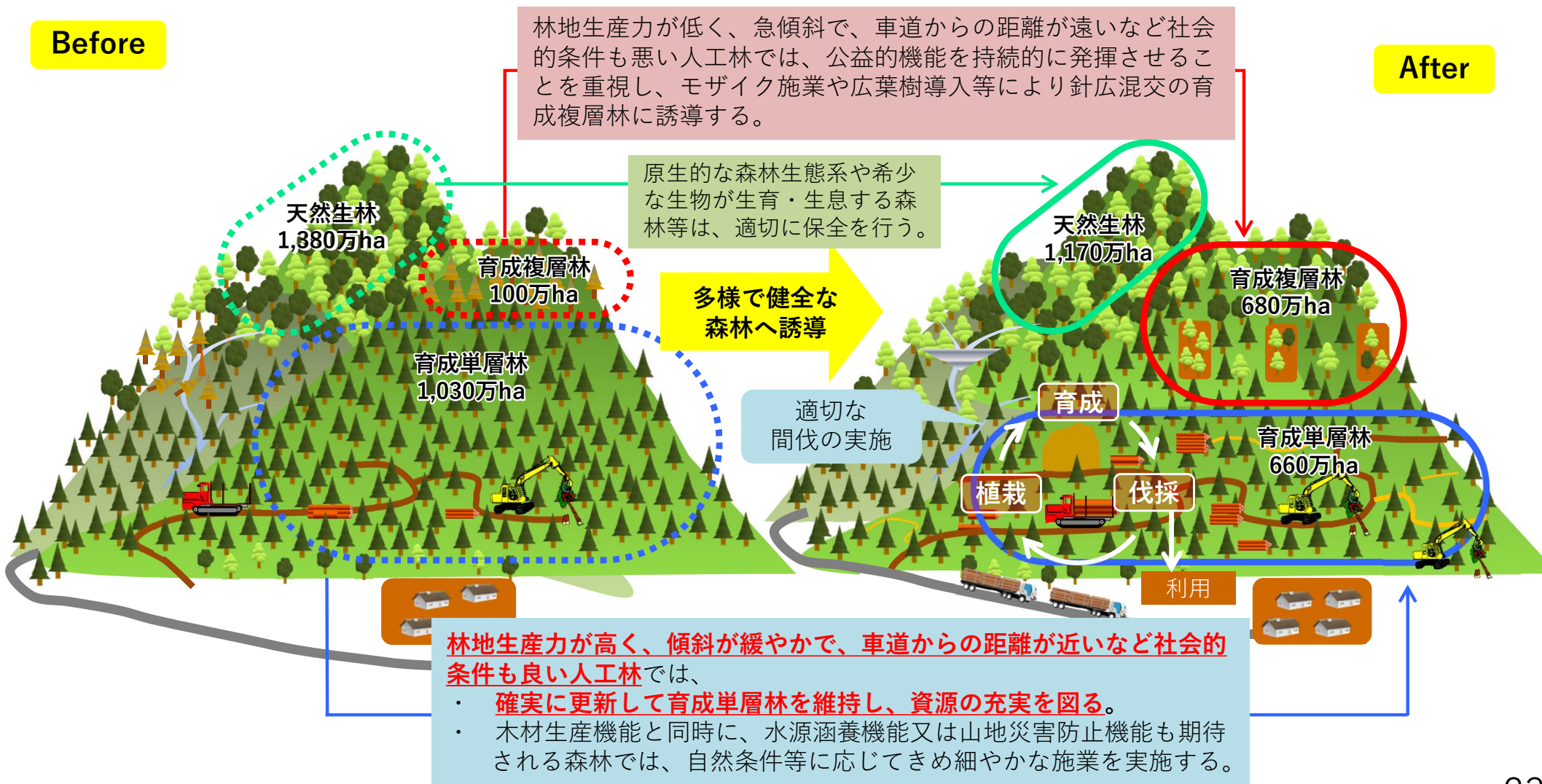
天然生林



自然散布の種子の発芽・生育等、天然力により成立・維持

Before

After



3.6) 特に効率的な施業を推進する森林



特に効率的な施業を推進する森林（特効森林）の設定の背景等

■ 現状と対応方針

- 国有林野事業では、その組織・技術力・資源を活用して民有林に係る施策を支え、森林・林業施策全体の推進に貢献していくこととしている。
- このような中、森林・林業基本計画では、「新しい林業」の実現に向けた取組の展開、担い手の育成、国産材の安定供給体制の構築等が課題。

公益重視の管理経営を推進しつつ、上記の「新しい林業」の実現に向けた効率的な施業の実施や民有林関係者への普及、担い手の育成等の取組を効果的に進めるため、林地生産力や地形等の自然条件や路網整備状況等の社会的条件が良い人工林を特定することとする。

■ 取組内容

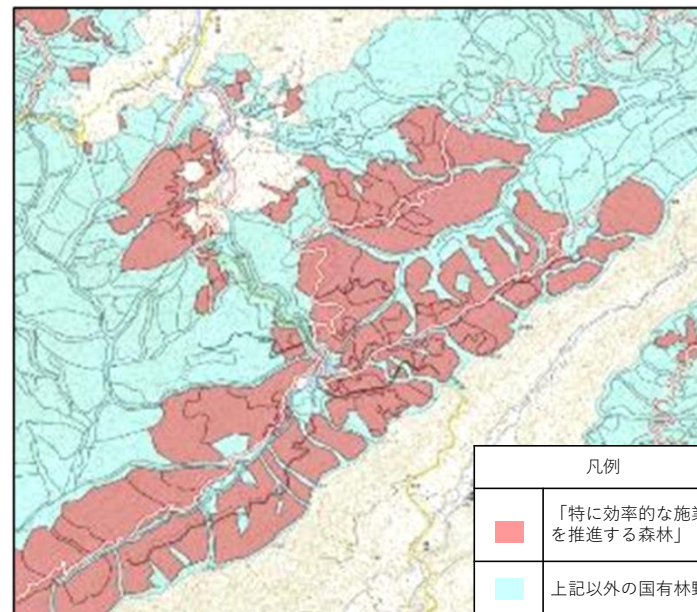
「特に効率的な施業を推進する森林」の設定

- 水源涵養タイプの人工林のうち、**林道等からの距離が近く、地位が比較的高く、傾斜が比較的緩い森林を「特に効率的な施業を推進する森林」として設定。**
- 地域の民有林関係者等に「特に効率的な施業を推進する森林」の対象森林が明らかとなるよう、地域管理経営計画等に当該森林を位置付け、公表。

「特に効率的な施業を推進する森林」での取組

- 自然条件等の良い人工林であることから、水源涵養機能の発揮に支障を生じさせない範囲で、以下の取組を推進。
 - ・ **造林の省力化・低コスト化等の「新しい林業」の実現に向けた効率的な施業の実施**や、現地検討会を通じた民有林関係者等への普及
 - ・ **事業発注**を通じた林業事業体の育成
 - ・ **樹木採取権**による林業経営体の経営基盤の強化や分収造林を活用した経営規模拡大の支援等

■ 「特に効率的な施業を推進する森林」の設定と運用のイメージ



「新しい林業」の実現に向けた効率的な施業の実施と民有林への普及

事業発注を通じた林業事業体の育成

木材の安定供給に資する林道の機能強化

このほか、分収造林新規契約やレーザ計測・解析等を優先的に実施

これらの取組を通じて、地域の国産材の安定供給体制の構築や将来的な森林吸収量の確保・強化にも貢献

3.6) 特に効率的な施業を推進する森林



特に効率的な施業を推進する森林（特効森林）の設定の考え方

多様な森林づくりに向けた人工林の誘導イメージ

～地位・傾斜・車道からの距離で区分した場合～

地形や地位等の自然条件や路網整備等の社会的条件を踏まえて、人工林における森林施業のあり方（施業群等）を適宜見直していく必要。特に、今後施業が見込まれる車道からの距離が近いゾーンから優先的に見直し。

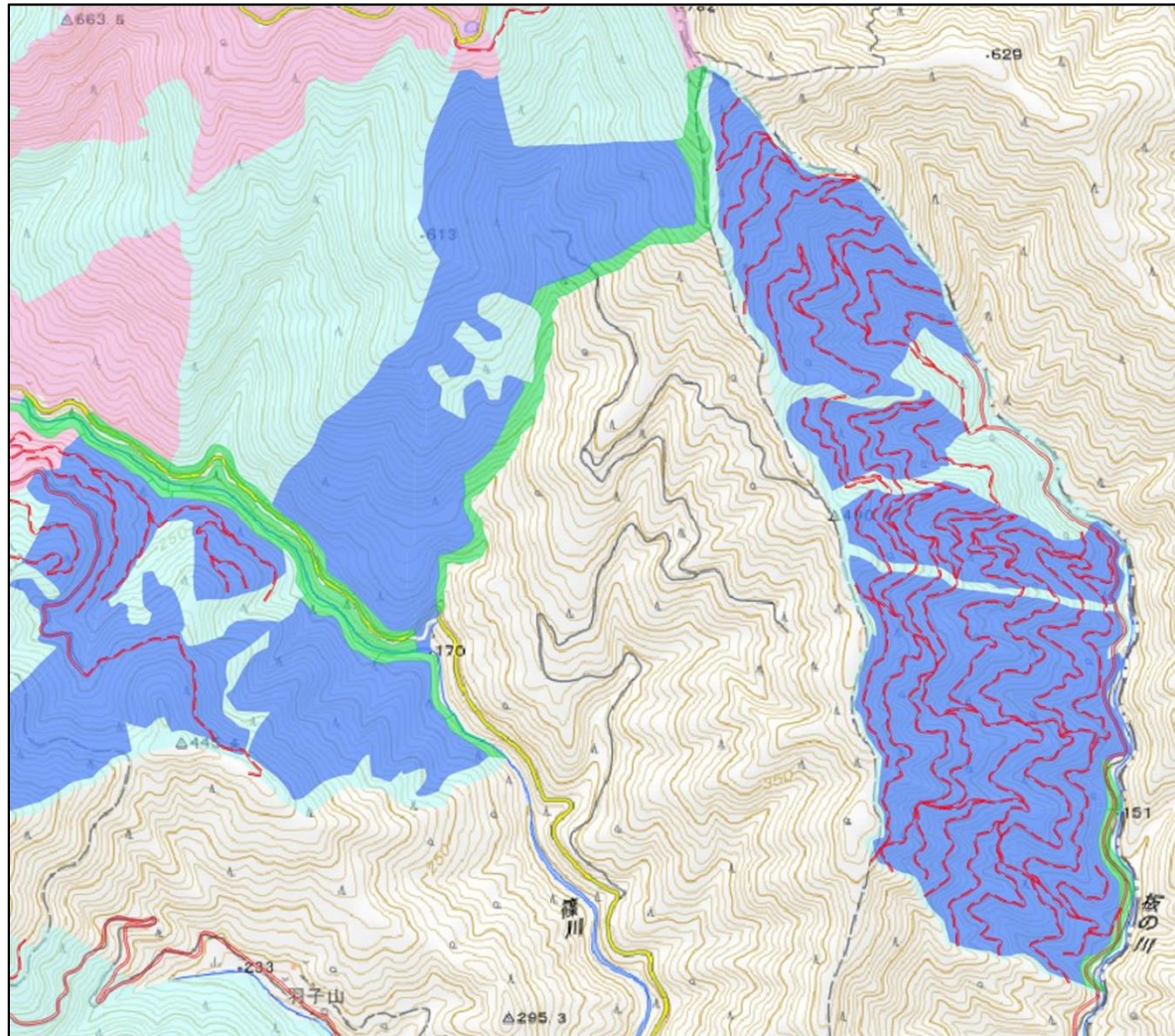
区 分			【地形・土地の生産性の観点】			
			高 ←		→ 低	
			傾斜35度未満（中以下）		傾斜35度以上	
			地位：高（8以上）	地位：中（5～7）	うち傾斜35度未満 かつ 地位：高～中	又は 地位：低（4以下）
【経済性の観点】	高 ↑	車道からの距離 300m未満	I A 積極的な 主伐・再造林 （育成単層林を維持）		II 状況に応じて判断	
	低 ↓	車道からの距離 300m以上	IV C 長伐期化 （育成単層林を維持）		III B 複層林化等 （育成複層林へ誘導）	
			V 状況に応じて判断		VI D 自然遷移 （育成複層林へ誘導）	

R5年度に局内の全森林計画区の当該区域の森林を「特に効率的な施業を推進する森林」に設定

3.6) 特に効率的な施業を推進する森林



特に効率的な施業を推進する森林（特効森林）の設定の例



森林計画区	水涵タイプ 人工林面積 a (ha)	特効森林 面積 b (ha)	割合 b/a (%)
南予	7,710	1,662	22

注1：小数点以下は四捨五入。

注2：国有林野施業実施計画R7.4.1樹立時データによる。

国有林野の凡例	
	水源涵養タイプ
	水源涵養タイプのうち特効森林
	森林空間利用タイプ
	山地災害防止（土砂）タイプ
	林道、作業道

地理院タイルに国有林野を追記して作成
 地理院タイル一覧ページ
<https://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html>

3.7) 森林・林業技術者等の育成支援



- 愛媛森林管理署は、森林・林業を担う人材育成に貢献するため、
- 南予森林アカデミーの研修内容の拡充・強化を図るため、国有林野のフィールドを活用して、ドローン操作実習、高性能林業機械を使用した作業の見学、一貫作業システム及びコンテナ苗植付研修に協力。
 - 愛媛大学農学部生のインターンシップ（就業体験実習）に対応。具体的には、森林・林業の現状、野外調査、森林官業務等の体験、学習に協力。
 - 南予女性林業研究グループ（宇和島地区林業研究グループ連絡協議会所属）が開催したドローン操作技術の研修会に協力。

南予森林アカデミーでの実習



愛媛大学農学部生のインターンシップ



南予女性林業研究グループの研修会



3.8) レクリエーションの森



- 「レクリエーションの森」は、それぞれの森林の特徴や利用の目的に応じて、自然休養林、自然観察教育林、風景林、森林スポーツ林、野外スポーツ地域、風致探勝林の6種類に区分されます。
- 南予森林計画区には、滑床自然休養林（1,232ha）と篠山風景林（282haのうち南予森林計画区248ha）を設定しています。



滑床自然休養林
（宇和島市、鬼北町、松野町）



篠山風景林
（愛南町）

3.9) 保護林



- 原生状態が残されている森林、希少な野生生物の生育・生息に必要な森林、地域固有の生物群集を有する森林を「保護林」に設定。
- 保護林では、森林の状況を把握するため、継続的なモニタリング調査を実施。調査結果を踏まえ、必要な保護・管理を実施。
- 南予森林計画区には、「滑床山ウラジログシ等（遺伝資源）希少個体群保護林」（36.62ha）を設定。



ウラジログシ



ウエマツソウ

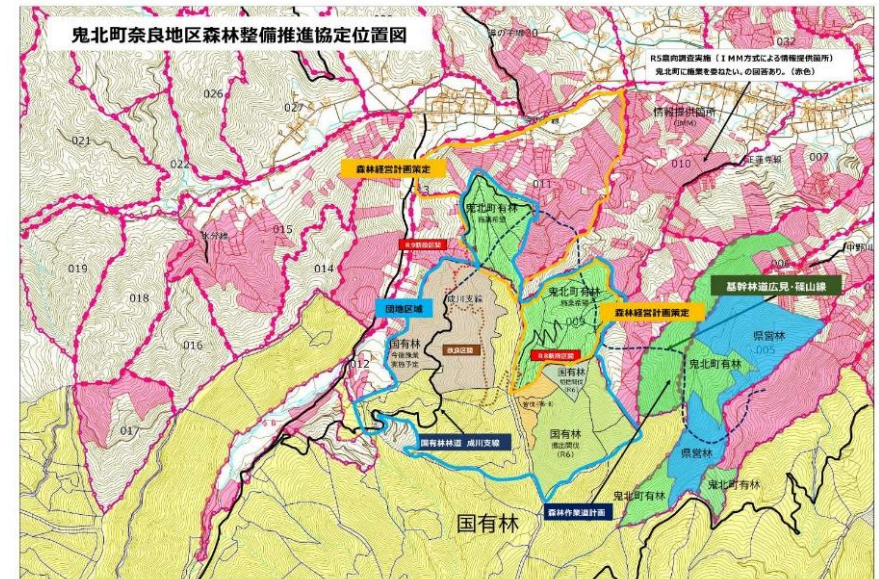
3.10) 民有林との連携



- 愛媛森林管理署と鬼北町は、林道や作業道の路網を相互に利用し、鬼北町奈良地区に位置する鬼北町有林と国有林の森林整備を一体的に行うため、令和6年3月、「鬼北町奈良地区森林共同施業団地」の設定を内容とする森林整備推進協定を締結しました。
- 協定者は、民有林における施業の集約化の推進に資するよう、区域の拡大についても検討することとしています。

■鬼北町との森林整備推進協定の概要

協定名	鬼北町奈良地区森林整備推進協定
協定対象森林面積	204ha (鬼北町有林：58ha、国有林：146ha)
協定締結者	鬼北町長、 鬼北町近永地区町有林管理組合長、 愛媛森林管理署長
協定締結のメリット	鬼北町は、愛媛森林管理署が開設・修繕した作業道や国有林林道を活用して、鬼北町有林の森林整備を行い、木材搬出ができる。愛媛森林管理署は、鬼北町が修繕した林道を活用して、立木販売箇所の木材搬出ができる。



四国森林管理局HP

民有林と連携した取組 ～現地検討会、ケーススタディ地区～



3.11) 林業技術の開発、指導及び普及



愛媛県、愛媛大学、愛媛森林管理署が連携した、 人工林の天然林化への試みにかかる現地検討会の開催

○林業の担い手が減少し、全ての人工林を今後も維持することが難しく、林業に適さない条件の悪い林分は元来の姿である広葉樹林に戻していくことを検討する必要があります。

愛媛森林管理署は国有林をフィールドとして愛媛大学と調査を行い、愛媛県林業研究センターから指導・助言をいただき、愛媛県、愛媛大学、国有林職員らで現地検討会を行い、人工林の天然林化に関する情報を共有しました。



現地検討会の様子（令和6年11月12日）

3.12) 国有林野の維持・保全



ニホンジカ誘因捕獲事業「ついでの捕獲」協定を締結

- ニホンジカの生息域の拡大や個体数の増加により、森林での樹皮剥ぎや食害による下層植生の衰退による土壌流出等の被害が深刻化。
- 日頃から定期的に、国有林内に立ち入ることがある事業者と、「ついでの捕獲」協定を締結。事業地周辺や通勤経路に設置したわなの見回りと捕獲を協力依頼。



ご清聴ありがとうございました！



森林の環(もりのわ)応援団